

2019年度事業報告書

自：2019年4月1日

至：2020年3月31日

I. 事業実施概要

日本経済は、企業の設備投資や輸出を左右する世界経済の動向が依然として不透明で、消費増税後の消費に減速が見られた。政府は緩やかに景気が回復するとの見解を示していたが、3月以降は中国発の新型コロナウイルス感染症の影響が全国的な広がりを見せ、業界・規模に関わらず景況感が大幅に悪化している。

酪農乳業においては、2019年度は、夏場の天候不順により需給への影響があったことに加え、台風15号では、千葉県で停電の長期化による乳業工場の操業停止や酪農家での生乳廃棄が発生した。一方、生乳生産は、農林水産省からの各種支援に加え、酪農乳業関係者による生産基盤強化の取り組みにより、なんとか4年ぶりの増産となった。しかしながら、都府県においては、生乳生産の減少に歯止めがかからず、依然として回復までには至っていない状況にある。

「牛乳」等の需要については、2019年4月からの値上げ、10月からの消費税増税の影響は、限定的であり、北海道から都府県への生乳移出は、年々増加しているが、移出量には物理的な制約があるため、飲用需要期における都府県の生乳の不足感は年々一層強まっている。

一方、北海道では、安定した需要がある国産バター等の乳製品向け生乳が不足して、需要者の要望に十分に答えきれていない実態から、都府県における酪農の生産基盤強化と飲用向け・乳製品向け双方の需要を勘案したバランスを保った生乳供給の実現が、喫緊の課題となっている。

2018年の「北海道胆振東部地震」でもそうであったように、自然災害がもたらす生乳需給に与える影響が、ますます大きくなっており、業界としては、「自然災害はいつでも発生し得る」という認識にたった、事前の対応がこれまで以上に求められている。

当協会では、2019年7月に「乳業における災害リスク管理対策のあり方に関する報告書」をとりまとめ、乳業各社に対してBCPの策定や各地域の基幹となる工場を中心として、非常用電源設備の導入の検討を促した。また、政府からは、指定団体の地域単位で「全国10のブロックにおける停電時の対応計画」の作成を求められており、乳業者には、改めてBCPの再点検と「停電時の対応計画」作成へ協力を依頼した。

2030年度を目標とする「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」の見直しは、2019年8月の畜産部会において、乳業関係のヒアリングが実施され、9月に諮問が行われた後、委員による議論を経て、3月31日に農林水産大臣に答申された。

8月のヒアリングでは、乳業者を代表して西尾会長が臨時委員を務め、わが国酪農の最大の課題は、生産基盤を維持・強化することとし、酪農乳業という産業の持続的発展を期して「失われた20年を取り戻す」をテーマに、酪農乳業が連携し、牛乳・乳製品の安定供給に努めていくことが最も重要であるとの意見を申し述べた。

国際化の進展については、TPP11及び日EU・EPAや2020年1月に発効された日米貿易協定等により、今後、グローバル化が加速し、民間貿易による乳製品の輸入数量が増加した。当面は国内の牛乳・乳製品需給への影響は限定的なものと思われるが、引き続きその動向に注視するとともに、関連する情報の発信に努めた。

酪農乳業を取り巻く国際環境は、酪農乳業分野におけるSDGsに対応した環境配慮、アニマルウェルフェア等の刻々と変化する国際的なルールや規範への対応が必要となっている。

さらに、HACCP制度化への対応では、当協会は企業存立の基盤強化を図る上で「食の安全と消費者からの信頼確保」の取り組みが、最重要課題と位置付けている。そうした中、2018年6月には食品衛生法が改正、公布され、「HACCPに沿った衛生管理の制度化」がなされた。改正法に基づき、2019年11月に施行規則が改正され、営業の施設の衛生的な管理その他公衆衛生上必要な措置の基準が規定されたところである。施行には猶予期間が設けられているものの、施行に向けた会員への支援策が当協会の重要な取組と認識している。

環境関連では、「地球温暖化対策」や「循環型社会形成推進」のため、業界が自主的に定めた目標達成に向けて、当協会は、継続して経団連の「環境対策プロジェクト」に参画し、業界共通の課題解決に向け活動を進めた。

2019年6月に大阪で「G20サミット」が開催され、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにする「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有された。

今後国内では、プラスチック資源の総合的な回収・リサイクルの推進への検討が開始されると推測され、酪農乳業に対する影響に注視する必要がある。

このように乳業界は、将来を見据えた上で方向性を探り、山積する課題に一つずつ取り組み、策を打つ必要があり、我々を取り巻く環境変化や会員ニーズを踏まえ、以下5つの重点課題に取り組んだ。

< 重点課題 >

- 1) 品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保
- 2) 牛乳・乳製品の普及・啓発
- 3) 乳業事業の改善
- 4) 国際化の進展への対応
- 5) 環境・リサイクル対策の推進

II. 事業内容

1) 品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

HACCP制度化を見据えた衛生管理体制の構築・整備を進め、人材育成を図ることにより製品の品質及び安全性の向上に取り組むことで、消費者からの信頼確保を図っている。また、牛乳・乳製品の衛生・品質上の課題対応のために生産技術委員会等を開催し、適正な表示等実現に向けて乳製品表示検討委員会を開催し検討を進め、行政への要請並びに会員への適切な情報の提供及び周知を行っている。

(1) 牛乳・乳製品の安全確保、品質向上

① 乳業施設の衛生・品質管理体制強化のための取り組み

衛生管理水準の向上のため「牛乳衛生講習会」を、HACCP制度化に対応するため「HACCP専門家養成講習会」をそれぞれ継続実施し、都道府県協会やブロック単位で主催する「『HACCPの考え方を取り入れた牛乳・乳飲料製造の衛生管理計画作成のための手引き』を用いたHACCP手引書講習会」(以下、「HACCP手引書講習会」)に講師派遣等を行い支援した。また、官能評価員として必要な知識と技能を段階的に習得することを目的とした官能評価員育成研修会を実施した。

A. 牛乳衛生講習会

牛乳等の衛生管理水準の向上、特に中小規模の乳業工場の底上げを図る観点から若年層の製造・品質管理者等を対象とした牛乳衛生講習会を各都道府県協会と当協会の共催にて7月から11月まで16回、予定通り開催した。

工程での衛生管理について実例を用いて解説し、衛生管理計画の概要、事例を基にした品質管理方法の習得及びHACCPシステムの理解を目指す講義内容とし、また食品衛生法改正の動向について解説を行った。16か所のうち10か所では、各都道府県の行政担当者による食品衛生の動向に関する講義を盛り込んだ。

B. HACCP専門家養成講習会

総合衛生管理製造過程承認施設等の担当者を対象に、HACCPシステムについて相当程度の知識を持つと認められる者を養成するための講習会として、HACCPの導入、維持管理に必要な内容を整理した冊子を作成し講義を行い、コーデックスのHACCPガイドラインに基づく危害要因分析表、HACCPプランの作成と検証の演習を行った。10月東京にて、11月大阪にて計37名の受講者を対象に実施した。

C. HACCP導入講習会

HACCPに沿った衛生管理の制度化に対応する衛生管理計画作成の支援策として企画した。各乳業者の自主的・自律的な取り組みをさらに促す観点から、ブロック単位又は都道府県協会の主催とし、当協会から講師、テキスト、演習材料等をパッケージ化して提供し支援する予定であったが、開催には至らなかった。

D. HACCP手引書講習会

HACCP手引書に基づく衛生管理計画作成の支援のための講習会として、10月に宮城県で受講者40名を対象に実施した。HACCPの制度化及びHACCPの考え方を取り入れた衛生計画の作成について解説し、牛乳・乳飲料製造の手引書の説明を行った。

E. 官能評価員育成研修会

官能評価に関する講義及び演習により、乳業施設などで官能評価員として必要な知識と技能を段階的な研修により習得することを目的とし、研修の内容としては、学乳等での風味変化問題への対応強化を図ったものとしている。

- 1) 基礎コース（初心者のボトムアップを図る内容で1日間）は、9月に東京、10月に神戸、11月に札幌にて計57名を対象に実施した。
- 2) 育成コース（3年程度の経験者を対象とした内容1.5日間）は、5月と12月に東京、7月と1月に神戸にて計80名を対象に実施した。
- 3) 専門コース（さらなるスキルアップを図る内容2日間）は1月に東京で受講者12名を対象に実施した。



A. 牛乳衛生講習会（福岡会場）

D. HACCP手引書講習会（宮城会場）



E. 官能評価育成研修会基礎コース（東京会場）

② 牛乳・乳製品の法改正や表示に係る取り組み

食品衛生法、乳等省令、食品表示基準等の改正への協力と当協会への要望等の的確な反映、当該法令等の内容の会員への周知徹底を図った。

調製乳の3-MCPD脂肪酸エステル類、グリシドール脂肪酸エステル類の低減等に関する行政当局の施策協力、国際動向の把握、及びそれら情報の関係会員への周知を行った。

また、食品表示新基準に対応した乳製品表示ガイドラインの改訂作業と周知を行った。

「乳製品表示講習会」は食品表示法や食品表示基準の基礎知識の習得とグループ演習を通して理解を深める研修内容とし、6月に東京、9月に大阪、2月に東京にて開催し、計55名を対象に実施した。

③ 生産技術委員会等の適時開催

牛乳・乳製品の安全確保、品質向上、HACCPの普及促進等に関する検討を目的としている。

A. 病原微生物、有害化学物質等対応

食品の安全情報を注視し、行政へ協力するとともに諸般の情勢を見ながら、情報提供と安全確保のための対応を行っている。

B. 会員、消費者等に対する安全性確保に関する情報の提供

ホームページやメールにより、確実な情報を速やかに提供した。

C. 生乳検査精度管理認証制度への協力

(公)日本乳業技術協会が実施する標記制度の運営に必要な協力を行っている。

D. Jミルクの生乳段階での残留農薬等の安全性確保事業への協力、牛乳の農薬等の検査の実施

生産者における取り組みの検証として、牛乳の農薬等残留検査を2月に実施した。また、Jミルクで実施しているポジティブリスト制度に対応した生乳定期検査及びアフラトキシンM1検査の結果情報を入手し、

実態把握に努めた。

E. HACCPの普及に関する活動

HACCP検討小委員会においてHACCP講習会の内容について検討し、講習会の運営に反映させた。

必要に応じて厚生労働省が開催するHACCP普及推進連絡協議会、食品衛生管理に関する技術検討会等に今後も参加、協力していく。

(2) 牛乳等衛生功労者の表彰

都道府県協会から会長表彰及び会長感謝状候補者 15名の推薦をいただき、8月2日に選考会を行い、11月15日に表彰式を開催した。

2) 牛乳・乳製品の普及・啓発

牛乳・乳製品の消費拡大に向けた下支えとして、一般消費者を対象とした、牛乳・乳製品に関する知識や新たな知見の普及・啓発活動を推進し、「乳」への理解促進と食生活における習慣化を図るべく取り組んだ。

推進にあたっては、Jミルクや中央酪農会議等の関係団体及び乳業各社と、活動の内容や連携、機能分担等について検討しながら進め、また、当協会のパブリシティ向上を図るため、オピニオンリーダーや専門紙誌記者に対する活動も継続して行った。

(1) 普及・啓発活動の充実・強化に向けた取り組み

① 広報委員会の運営

正会員乳業7社の広報・お客様相談部門の代表者で構成され、乳業における広報課題や時宜問題に関する情報交換と課題検討を行った。

本年度はワーキンググループによる「牛乳の新たな価値訴求」について検討を進めてきた。(3月の広報委員会に上申する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への対応により延期となった)

② 食育活動分科会の運営

広報委員会委員各社にヒアリングを行い、当分科会の位置づけと機能を再度明確にした。正会員乳業6社の食育に係わる実務担当者と当協会相談員で構成し、食育活動の実施状況に関する情報交換を8月に行った。

③ 東京連絡会・関西連絡会の運営

正会員乳業6社の、東京及び大阪在勤のお客様相談・広報担当で構成され、本年度より関西(大阪)でも毎月開催し、当協会の活動や相談状況の報告と情報提供、各社からの情報提供と意見交換を行った。

④ 都道府県協会主催の食育研修会等への対応

学乳の風味変化問題への対応を中心に、都道府県協会が開催する研修会等への参画要請があった場合、Jミルク等の関係団体と連携して、講師派遣や資料提供等の対応を行うが、本年度の要請はなかった。

⑤ 関係機関訪問による食育勉強会・食育授業の実施促進

本年度も、都道府県協会と協同で、首都圏及び近畿圏の行政や教育委員会等の食育関連部署に対して、2019年度の重点取り組みである、「学校・教育関係者や保護者対象の食育勉強会」と「中学校での食育授業」の実施を中心に働きかけを行った。東京、千葉、神奈川、埼玉の教育庁及び教育委員会では、小中学校やP T A・教育関係者への案内に好意的に協力いただき、特に、千葉と埼玉では高校への案内についても協力いただいた。小学校は、ターゲットエリアを定めて働きかけを行い、食育DVDを活用した授業の実施も併せて提案した。

⑥ 普及・啓発ツールの充実

普及・啓発活動に使用するリーフレット類（全21種類）について、会員からの提供の要望に適時対応した。

内容の見直しについては、適宜検討し、連絡会等の場で会員と確認しながら行った。

また、新規に作成した牛乳・乳製品の啓発向けリーフレット（「そうなんだ！正しい牛乳・乳製品の取り扱い」）の都道府県消費生活センターへの配架の働きかけを行った。

（2）相談業務・相談員派遣

① 相談対応

電話、食育勉強会・食育授業、研修会、イベント等における相談・問い合わせに迅速かつ的確に対応した。

本年度の総相談件数は1,503件（前年同期1,434件）で、そのうち電話での件数は277件（前年同期252件）となっている。

② 学校・教育関係者、保護者対象の食育勉強会

特に牛乳飲用の習慣化が望まれる中高生の学校関係者や教育関係者、保護者に直接働きかける機会として、「食育勉強会」を最重点活動と位置付けて取り組んだ。牛乳・乳製品の栄養的重要性を中心に、牛乳の風味変化に関しても説明内容に加え、年間80回（前年60回）を目標に取り組んだが、学校側の都合もあり、計70回の実施となった。

③ 小中高生対象の食育授業

中学・高校での授業に重点を移しつつ、小中高合わせて年間160回（前年180回）を目標に取り組み、計160回実施した。また、学校訪問時には

学校長等に対して、牛乳の風味に関する説明も継続して行った。

④ 栄養学専攻大学生対象の「3-A-Day セミナー」

将来、栄養教諭・管理栄養士・養護教諭等になることが期待される栄養学等を専攻する大学生を対象に、牛乳・乳製品の栄養的重要性と、小中高生の食生活における習慣化の重要性を理解してもらう内容で以下の7大学において実施した。

実施日	大学名	対象	講師
7月6日 (土)	和洋女子大学	家政学部 健康栄養学科 1年生	上西 一弘先生 (女子栄養大学 教授)
7月31日 (水)	新潟大学	農学部2年生	上西 一弘先生 (女子栄養大学 教授)
9月27日 (金)	鎌倉女子大学	家政学部 管理栄養学科 3年生	上西 一弘先生 (女子栄養大学 教授)
9月30日 (月)	甲子園大学	栄養学部 栄養学科 3年生	伊木 雅之先生 (近畿大学医学 部教授)
11月2日 (土)	十文字学園女子大学	人間生活学部 食物栄養学科 2年生	竹内富貴子先生 (竹内富貴子・カ イロニック・ダイエツト・ スタジオ)
11月6日 (水)	昭和女子大学	生活科学部 食安全マネジメント学科 2・3年生	上西 一弘先生 (女子栄養大学 教授)
12月13日 (金)	女子栄養大学	栄養学部 保健栄養学科 4年生	上西 一弘先生 (女子栄養大学 教授)

⑤ 業界関係団体のイベントへの参画

6月29～30日第14回食育推進全国大会(山梨県甲府市)、7月25日東京都健康づくりフォーラム(東京都)に出展した他、8月7～8日第60回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会(岐阜県岐阜市)や、モーモースクール等に参画し、当協会の食育活動内容の紹介と食育事業の実施促進を図った。

(3) 「おいしいミルクセミナー」の開催

牛乳・乳製品の栄養的重要性やそのおいしさ、たのしさを直接消費者にアピールし、消費の裾野拡大を図る機会として、Jミルク・中央酪農会議と共催で、6月「牛乳月間」を中心に前年同様3回開催した。

① 5月31日東京会場(中野区・中野サンプラザ)

- ・ミニ講演：中央酪農会議「酪農ミニ講演」
- ・講演1：女子栄養大学 教授 上西一弘氏

「牛乳摂取で健康な人生を目指そう～特に重要な成長期の牛乳摂取～」

- ・ 講演2：小山浩子氏「乳和食セミナーとデモンストレーション」
- ・ 出展者：(株)明治、森永乳業(株)、雪印メグミルク(株)、協同乳業(株)、タカナシ乳業(株)、Jミルク、中央酪農会議、日本乳業協会



告知



会場風景

② 6月19日広島会場（広島市・リーガロイヤルホテル広島）

- ・ ミニ講演：中央酪農会議「酪農ミニ講演」
- ・ 講演1：比治山大学 教授 寺岡千恵子 氏
「牛乳摂取で生き生き人生～子どものうちから牛乳で骨太人生始めましょう～」
- ・ 講演2：ホテルシェフの「牛乳・乳製品を使ったスイーツのデモンストレーション」
- ・ 出展者：(株)明治、雪印メグミルク(株)、山陽乳業(株)、広島協同乳業(株)、日本酪農協同(株)、チチヤス(株)、Jミルク、中央酪農会議、日本乳業協会



告知



会場風景

③ 10月28日秋田会場（秋田市・秋田ビューホテル）

- ・ ミニ講演：中央酪農会議「酪農ミニ講演」

- ・講演1：日本獣医生命科学大学 教授 戸塚 護 氏
「牛乳の健康機能～成長期からの牛乳摂取こそが健康長寿のカギ!～」
- ・講演2：小山浩子氏「乳和食セミナーとデモンストレーション」
- ・出展者：(株)明治、雪印メグミルク(株)、東北森永乳業(株)、秋田県牛乳協会
- ・その他協賛：小岩井乳業(株) (受付配布用牛乳)



告知

会場風景

(4)「イベント等での普及・啓発活動」(都道府県協力事業)

牛乳・乳製品を摂ることの重要性を直接消費者に伝える貴重な機会として、都道府県協会からの申請に基づいて、畜産フェア等のイベントにおいて骨密度測定や相談員による食育活動を行った。本年度は 11 協会から申請があり、台風接近、新型コロナウイルス感染症への対応により 2 件が中止となり、9 件の実施となった。

協会名	実施日	事業名
島根県乳業協会	7月13日 8月23日	・アグリミーツing 2019 くにびきメッセ ・乳和食講演会骨密度測定
北海道乳業協会	7月30日	乳和食推進リーダー養成講習会
京都府牛乳協会	9月4～5日	京都府立田辺高校
大阪府牛乳協会	9月6～7日	・大阪府立みどり清朋高校、 教育センター附属高校
静岡県牛乳協会	9月8日	第21回富土地域畜産まつり
岩手県牛乳協会	9月14～15日	ミルクフェア2019いわて
鳥取県牛乳協会	9月29日	大山まきば祭
神奈川県乳業協会	10月12～13日	第38回ちくさんフードフェア (* 台風接近により中止)
広島県乳業協会	10月26～27日	MILK JAPAN in ひろしま

秋田県牛乳協会	11月2～3日	ミルクフェア 2019
福岡県牛乳協会	3月8日	福岡県教育委員会・福岡県学校給食会 「学校給食フェア」(* 新型コロナウイルス 感染症への対応により中止)

(実施日順)

(5) 会員企業による工場見学開催への支援

「6月1日牛乳の日」「6月牛乳月間」の認知度を更に高め、消費拡大につながるよう、工場見学を実施する会員乳業者の工場（全国44工場）を当協会ホームページで紹介するほか、要望に応じて普及・啓発に関する資料やノベルティグッズ（3-A-Day オリジナル付箋）を提供した。

(6) 「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」の充実

ジャーナリストや消費者等を代表するオピニオンリーダーを委員とし、委員の情報発信と、その内容が業界や企業の活動に反映されることを期待して、前年度同様、年4回開催した。（1回は企業や団体の施設現地見学会、3回は食や政策等に関連するテーマを取り上げた講演会）

- ・第1回…5月20日／現地見学会
株式会社 明治「明治イノベーションセンター」を訪問
- ・第2回…7月8日／講演
「世界のアスリートたちは何を食べているの？～牛乳・乳製品を中心に～」
橋本 玲子氏／株式会社 Food Connection 代表取締役、管理栄養士・
公認スポーツ栄養士
- ・第3回…9月24日／講演
「腸内細菌・プロバイオティクスと健康」
戸塚 護氏／日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 教授
- ・第4回…2月17日／講演 ※通算“第100回”の記念会として開催
「牛乳・乳製品の摂取習慣と高齢期の健康」
成田 美紀氏／東京都健康長寿医療センター研究所



現地見学会



講演会風景

(7) 「酪農乳業ペンクラブ」の充実

酪農乳業に関する迅速な情報収集と、会員である専門紙誌 17 社の記者による情報発信を図るため、「酪農乳業ペンクラブ」の事務局として、会員へ正しい知識と情報をタイムリーに提供する場及び交流の場としての研修会や見学会を企画・運営した。

- ・7月4～5日「総会&視察研修（高知県・愛媛県）」…ひまわり乳業(株)、四国乳業(株)を訪問
- ・10月30日「秋季懇談会（神田）」
- ・1月30日「冬季研修会・懇談会（乳業会館）」…農林水産省牛乳乳製品課にて「酪農乳業の最新事情」について講演を行った。



ひまわり乳業(株)訪問



四国乳業(株)訪問

3) 乳業事業の改善

(1) 需給均衡の推進

牛乳乳製品需給検討委員会にて需給予測を作成し、そこから予見される課題について議論し、対応策を講じていく。

① 牛乳・乳製品の需給予測

バターは引き続き需要量が国産供給量を大幅に上回ると予測されるものの、脱脂粉乳は需要量が減少傾向にあり国産需給は均衡する方向に向かうと見込まれる。そのため、年間需給に加えて月別の需要量と生産量、在庫水準について予測した。

② 乳製品需給の過不足対応

精度を高めた予測から、乳製品需給の不均衡を早期に察知し、タイムリーな情報発信と、不足時の適時・適量・適価での輸入・放出対応の要請等をした。

③ 牛乳乳製品需給検討委員会の開催

5月15日、9月10日、12月11日及び2月18日に牛乳乳製品需給検討委

員会を開催し、結果をホームページに掲載した。

また、2月18日に開催した第4回需給検討委員会では、1月31日に農水省が公表した2020年度の乳製品輸入枠（バター20,000トン、脱脂粉乳4,000トン）を反映した需給予測を作成した。

(2) 「酪肉近代化基本方針」、「畜産経営安定法」等への対応

① 酪肉近代化基本方針等の推進に係る対応

農林水産省が5年に一度行う酪肉近代化基本方針の見直しにあたり、乳業基本問題検討委員会を適宜開催し、乳業が取り組むべき課題等を分析し、必要に応じて国に意見具申した。

6月11日、10月1日及び2月5日に乳業基本問題検討委員会を開催し、畜産部会における乳業者としての意見表明内容等について協議した。8月21日に開催された第4回畜産部会のヒアリングで乳業者としての意見表明を行い、その後も3月までに合計13回開催された畜産部会に適宜出席し乳業者としての意見を発信した。

② 改正「畜産経営安定法」への対応

2018年4月から施行された改正畜安法並びに政省令について、乳業基本問題検討委員会を適宜開催し、乳業メーカーが対応すべき課題等について行政と意見交換等を実施した。

③ Jミルクの酪農乳業産業基盤強化特別対策事業などに参画し、生乳生産基盤強化に向けた取り組みを支援した。

④ 4月23日に第4回、7月12日に第5回の乳業における災害リスク管理対策のあり方に関する検討会（災害リスク管理検討会）を開催し、報告書を取りまとめた。

(3) 学校給食用牛乳供給事業制度の円滑な推進

学乳事業の継続を柱とし、学乳の安定供給と安全性確保に向け、Jミルクの学乳問題特別委員会（4月26日及び5月22日に開催）に参画し、行政への要望や課題解決に関して意見を取りまとめ、6月4日にJミルクから農林水産大臣に要請書を提出した。また、食育等についてはこれまでと同様に当協会主体の取り組みを実施した。

(4) 乳業再編事業の支援

農林水産省が実施する「乳業等の再編・合理化に向けた取り組みへの支援（ハード事業）」について、事業を活用する乳業者に対して必要なサポートをした。

(5) 外食産業等と連携した畜産物の需要拡大対策事業の支援

2019年度は新たな取組はなかったが、前年度までに当該事業を利用した乳業者に対して、農林水産省と連携し実績報告等の必要な支援を行った。

4) 国際化の進展への対応

国際貿易交渉等への対応として、業界意見の集約と行政への提言・意見具申に取り組んだ。

(1) 業界意見の集約と行政への提言・意見具申

TPP11、日EU・EPAや日米貿易協定等の実施状況等を注視し、必要に応じて乳業基本問題検討委員会を開催して、情報発信と意見集約を行った。

また、意見集約の内容を踏まえ、国に対して日本の酪農・乳業への影響を最小限にとどめるための施策等に関する意見具申や提言を行った。

(2) 牛乳乳製品輸出部会の運営等

国の補助事業を活用し、日本畜産物輸出促進協議会の牛乳乳製品輸出部会を運営し、牛乳乳製品の輸出拡大に向けた体制整備、輸出戦略の立案等に取り組んだ。

- ① 農林水産省が公募した「畜産物輸出産地緊急対策事業」に応募し、新規解禁国・地域（フランス）のマーケット調査等を行い、10月14日～20日に現地調査を実施した。調査結果は、報告書を取りまとめて2月26日にホームページに掲載した。
- ② 日本畜産物輸出促進協議会（事務局：中央畜産会）から牛乳・乳製品関連業務を受託し、牛乳・乳製品の輸出拡大を希望する乳業メーカーを支援した。
 - ・ロゴマークの普及と維持管理（日本、台湾、香港、シンガポール、EU）
7月5日付けで日本の商標登録が完了したことを受け、1月1日付けで「牛乳乳製品輸出ロゴマーク使用許諾要領」を制定しホームページに掲載した。
 - ・日本産牛乳乳製品の品質情報の多言語発信（ホームページの改修、PR動画の修正等）

各種国際展示会出展等によるPR活動（①台湾、②香港、③ドイツ）



① フード台北（6月18～24日）



② FOODEXPO 香港（8月15～17日）



③ ANUGA 2019（10月5～9日）

5) 環境・リサイクル対策の推進

企業にとっても環境問題への取り組みは年々重要性が高まっており、当協会では、経団連/低炭素社会実行計画ワーキンググループ（以下「WG」とする）の一員として 2030年度までのCO₂排出量目標を掲げ、また 経団連/循環型社会形成自主行動計画WGの一員として、2020年度までの産業廃棄物最終処分量削減目標と再資源化率アップの目標を掲げて推進している。2020年度もこの目標を達成するための活動を継続して行う。

(1) 環境問題への対応

① 地球温暖化防止の取り組みに関する事業

経団連が主導する低炭素社会実行計画に参画し、以下の2項を目標に地球温暖化防止の取り組み事業を推進する。

- 2020年度を最終年度として年率1%以上のエネルギー原単位を削減する。
- 年率1%以上のCO₂排出量を削減して、2013年度実績の119万トンから2030年には100万トン以下までCO₂排出量を削減する。

国の地球温暖化対策長期戦略に呼応して経団連が主導する「2050年を展望した温暖化対策の長期ビジョン」の取り組みに対して、業界目標の策定を目指し検討していく。

また、次期(2021年度～)の行動計画・目標設定の検討を開始する。

- ・2019年度フォローアップ(2018年度実態)調査を6月より開始、9月11日経団連に報告した。【エネルギー原単位(前年比0.005%増)、CO₂排出量98.4万t】

② 循環型社会形成推進の取り組みに関する事業

経団連が主導する循環型社会形成自主行動計画に参画し、下記目標を推進する。

- 「2020年度までに安定的に、再資源化率97%以上、最終処分量を900トン以下とする。」

当協会主導の自主行動廃棄物改善WGで、全国・地域共同プロジェクトへの都道府県会員の参画促進は継続していく。特に廃棄物処理施設が不足している地域を中心に、アンケート調査や廃棄物管理セミナー開催を通じて、低処理コストで、かつ魅力のあるプロジェクトを計画し、広域での共同回収ルート構築を図る。



環境委員会・自主行動廃棄物改善WG 施設見学(愛知県あま市)

国の「プラスチック資源循環戦略」に呼応し、経団連が主導する「業種別プラスチック関連対策計画」に参画し、目標の設定と推進を図る。

また、次期(2021年度～)の行動計画・目標設定の検討を開始する。
・2019年度フォローアップ(2018年度実態)調査を6月～10月で実施した。
12月12日、経団連に報告。【再資源化率94.8%、最終処分量2,312ト】

③ 環境マネジメントシステムの向上に関する事業

「環境関連法令マネジメントチェックシート」の活用に向け、会員(都道府県会員を含む)への周知徹底を図るため、10月の定期改訂後、11月19日に改訂内容説明・解説セミナーを乳業会館で開催した。また、地方開催セミナーとして、6月7日広島会場、6月14日金沢会場で実施し、さらに2月4日名古屋、7日福岡で開催。

本年度「課題調査」として、環境法令業務に携わる新任者・実務経験者向けの社内研修教材を開発し、乳協HPに掲載した(11月20日)。

(2) 容器包装3Rへの対応

① 飲料用紙パックリデュース活動の推進

3R推進団体連絡会で策定した、2016～2020年度/第3次自主行動計画に則り、他の容器包装7素材とともに、リデュース活動に取り組む。

○「500ml牛乳用紙パックに使用する原紙を2020年度までに約3%軽量化する」の達成に向け、会員への要請活動を継続する。

・2019年度紙パックリデュース(2018年度実績)調査を7月～9月に実施し、前年同値のリデュース率2.9%の結果を得た。関係各社と連携し来期活動につなげる。

② 飲料用紙パックリサイクル活動の推進

○「2020年度までに飲料用紙パックの回収率50%以上とする」の達成に向け、引き続き、全国牛乳容器環境協議会の活動を支援する。

・2019年度紙パック基本調査を6月開始、取り纏めた2018年度実績を12月3日公表した。【紙パック回収率42.5%】

(3) 各種団体活動への参画

食品関連の各種課題に対応した委員会やWG等に参画し、当協会会員の立場で意見・要望を表出する。

・委員会等(4～3月); 食品産業センター(5回)、プラ推進協(4回)、経団連(4回)、3R推進団体連絡会(12回)、LL研究会(5回)

また、国のプラスチック資源循環戦略、容器包装リサイクル法、食品リサイクル法等の見直し動向を注視し、情報をタイムリーに入手し会員へ案内する。

・食品産業センターから主務官庁への再商品化入札制度見直し要望書の提出(6月17日)に参画協力した。

- ・食品ロス削減推進基本方針のパブリックコメントに対応し、本年1月、当協会環境委員会から集約した意見を食品産業センターおよび消費者庁に提出した。

6) 事業共通の取り組み

当協会のステークホルダー（会員、消費者、関係団体、行政など）に対して、有用な情報を迅速かつ適切に提供していく。

また、関係団体活動への積極的な参画により、会員の意思に基づく乳業界の意見反映に取り組む。

(1) ブロック会議及び全国事務局長会議等の開催

協会の事業活動に対する理解を深めてもらうとともに、会員の意見を募るために、6月20日より上期ブロック会議を全国8ブロック（北海道、東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄）にて順次開催した。会議では、2019年度事業計画説明の他に「新たな外国人材の受入制度」の概要説明、「飲用向け乳価引き上げ」に係るアンケート調査の結果報告と意見交換、「日本産牛乳・乳製品のPR用DVD」の紹介などを行った。

下期ブロック会議は、2月12日より順次開催し、2019年度事業活動内容と2020年度事業計画骨子、Jミルクから「酪農産業基盤強化対策事業など」について説明の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、全国5ブロック（北海道、近畿、中国、四国、九州・沖縄）にて中止となった。

第9回「賛助会員の会」を10月18日に開催し、2019年度事業経過報告とともに、2020TDM推進PJ運営事務局から講師を招き「東京2020オリパラ大会の輸送と企業活動の対策について」のテーマで講演を行った。



「賛助会員の会」（ホテルグランドパレス）

12月5日には全国事務局長会議を開催し、定例報告とともに「SDGs」に関連する取り組みの説明、「飲用向け乳価引き上げ」に係るアンケート集約

の報告などを行った。また、昨年に引き続き、農林水産省牛乳乳製品課にて「最近の酪農乳業をめぐる情勢について」の講演を行った。

(2) 会員アンケートの実施

会員を対象にした、当協会の活動に対する意見・要望を募るアンケートを、8月～9月で募集を行った。寄せられた意見・要望は翌年度の事業計画に反映させるとともに、12月の全国事務局長会議で当協会の見解と合わせて説明し、1月にホームページに掲載した。

(3) ホームページを活用した情報提供の充実

毎月、ホームページ運営委員会を開催し、アクセス記録等を参考に改善検討を進めている。また、タブレットやスマートフォンからのアクセスが全体の75%を越えた状況に合わせて、ホームページ画面の改善を図っている。

以下の項目及び都度発生する事象についてもタイムリー、かつ有用な情報発信を行っている。

- ① 当協会の運営、会議情報などの情報
- ② 乳・乳製品の知識、普及・啓発につながる情報
- ③ 研修会、セミナーの開催情報
- ④ 環境への取り組み情報
- ⑤ 食品衛生関係、需給予測などの情報

当協会ホームページは立ち上げから10年以上経過し、https(暗号化通信)未対応など老朽化による、システム更新が急務となっていたが、7月にクラウド化によるシステム更新が終了し、1月にはホームページのリニューアルを実施した。

(4) 関係団体活動への参画

① Jミルクにおける酪農乳業の課題検討への参画

酪農乳業共通の課題解決のため、乳業者の立場で各専門部会・委員会に参画して意見を発信していくとともに課題検討と解決に協力している。

一昨年度から開始され、3年目となる「酪農乳業産業基盤強化特別対策事業」では、財源となる「基盤強化基金」への対策金拠出への同意要請と、一部乳業者からの集金業務に継続して協力してきた。また、昨年10月にJミルクより提言された「力強く成長し信頼される持続可能な産業を目指して」に示された行動計画を推進する観点から、更に5年間継続する特別対策事業についても協力を行っている。

② その他関係団体における課題検討への参画

酪農乳業共通の課題解決のため、都度発生する他団体の課題検討に対しても積極的に参画し、乳業者の立場として意見発信をしていくとともに、取り組みに協力している。

酪農乳業共通の課題解決のため、また、都度発生する他団体の課題検討に対しても積極的に参画し、乳業者の立場として意見発信をしていくとともに、取り組みに協力している。

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応状況

3月11日、当協会ホームページに「新型コロナウイルス感染症への対応について」の掲載を行い、厚生労働省ホームページにある「食品等取扱い事業者の方へ」とした食品に関するQ&Aの紹介などを行った。また、農水省からの依頼による、「マスク・アルコールに関するアンケート」の調査や「臨時休業に伴う学校給食休止への対応」などの周知を行っている。協会内でも、時差出勤時間の拡大、在宅勤務などを実施して対応を図っている。

以 上

《2019年度 会議等開催及び出席実績》

I. 共通・総務部

2019年4月 ～ 2020年3月 実績

1. 総会・理事会等

開催日	開催名
4月19日	第37回理事会
5月17日	第8回定時社員総会・第38回理事会
8月2日	第39回理事会
2日	令和元年度牛乳等衛生功労者表彰式選考会
10月18日	第9回賛助会員の会
11月15日	第40回理事会（兼 会員企業代表者会議）
15日	2019年度牛乳等衛生功労者表彰式・祝賀会
12月5日	全国事務局長会議
1月7日	乳業団体合同新年賀詞交換会
3月6日	第41回理事会

2. 会員の総会等への出席

開催日	開催名
4月16日	九州牛乳協会総会
5月8日	長野県牛乳協会総会（長野）
27日	茨城県乳業協会総会（水戸）

3. ブロック会議

開催日	開催名
6月20日	関東・甲信越地区（長野）
28日	北海道地区（札幌）
7月8日	近畿地区（大阪）
10日	東海・北陸地区（愛知）
18日	九州・沖縄地区（福岡）
19日	東北地区（秋田）
23日	四国地区（愛媛）
30日	中国地区（広島）
2月12日	関東・甲信越地区（東京）
25日	東北地区（盛岡）
26日	東海・北陸地区（福井）
3月2日	近畿地区（大阪）【中止】
3日	中国地区（広島）【中止】
10日	九州・沖縄地区（福岡）【中止】
13日	北海道地区（札幌）【中止】
25日	四国地区（徳島）【中止】

II. 企画・広報部

【企画関係】

1. 乳業基本問題検討委員会

開催日	開催名
6月11日	第1回乳業基本問題検討委員会 （1）次期酪肉近基本方針見直しに向けての乳業者の意見表明内容の取りまとめ
10月1日	第2回乳業基本問題検討委員会 （1）10～11月の畜産部会における、乳業者の発言内容等について
2月5日	第3回乳業基本問題検討委員会 （1）酪肉近基本方針の見直しに係る畜産部会における、乳業者の発言内容等について （2）Jミルク提言に係る乳業者の対応について

2. 需給検討関係

開催日	開催名
5月15日	第1回牛乳・乳製品需給検討委員会
9月10日	第2回牛乳・乳製品需給検討委員会
12月11日	第3回牛乳・乳製品需給検討委員会
2月18日	第4回牛乳・乳製品需給検討委員会

3. Jミルク事業関係

開催日	開催名
4月26日	第1回学乳問題特別委員会
5月17日	第1回Jミルク需給委員会
5月22日	第2回学乳問題特別委員会
7月18日	第2回Jミルク需給委員会
9月17日	第3回Jミルク需給委員会
12月24日	第4回Jミルク需給委員会
1月14日	第5回Jミルク需給委員会
3月19日	第6回Jミルク需給委員会 【中止】

【広報関係】

1. 広報委員会

開催日	開催名
8月19日	第1回広報委員会 (議題) 乳業の広報課題に関する意見交換
8月28日	第1回食育活動分科会 (議題) 2018年度各社食育活動内容発表・共有および意見交換
3月18日	第2回広報委員会 【5月以降に延期】

2. 連絡会

開催日	開催名
4月5日	4月度東京連絡会
10日	4月度関西連絡会
5月8日	5月度関西連絡会
10日	5月度東京連絡会
6月6日	6月度東京連絡会
12日	6月度関西連絡会
7月10日	7月度関西連絡会
12日	7月度東京連絡会
8月8日	8月度関西連絡会
9日	8月度東京連絡会
9月6日	9月度東京連絡会
11日	9月度関西連絡会
10月8日	10月度東京連絡会
9日	10月度関西連絡会
11月8日	11月度東京連絡会
13日	11月度関西連絡会
12月6日	12月度東京連絡会
11日	12月度関西連絡会
1月10日	1月度東京連絡会
15日	1月度関西連絡会
2月7日	2月度東京連絡会
14日	2月度関西連絡会
3月10日	3月度東京連絡会 【中止】
12日	3月度関西連絡会 【中止】

3. 酪農乳業ペンクラブ関係

開催日	開催名
7月4日～5日	総会・視察研修(高知・愛媛)
8月1日	幹事会
9月24日	幹事会
10月30日	秋季懇談会
12月13日	幹事会
1月30日	冬季研修会&懇談会(農林水産省牛乳乳製品課 相田課長補佐様講演)
3月27日	幹事会

4. 牛乳・乳製品から食と健康を考える会

開催日	開催名
5月20日	第97回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
7月8日	第98回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
9月24日	第99回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」
2月17日	第100回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」

4. 外部会議関連

開催日	開催名
6月29日～30日	第14回食育推進全国大会(山梨県甲府市)
7月25日	東京都・健康づくりフォーラム・展示(東京都庁)
8月7日	第60回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会(岐阜県岐阜市)
9月12日～13日	Jミルク2019年度「牛乳食育研修会」(千葉県千葉市)

Ⅲ. 生産技術部

1. 生産技術委員会

開催日	開催名
3月中旬	生産技術委員会 【中止】 1) 2019年度事業報告、生産技術関係の動向について 2) 2020年度事業計画について 3) 食品衛生法改正対応について

2. 乳製品表示検討委員会

開催日	開催名
4月25日	第1回乳製品表示検討委員会 (議題) 乳製品表示講習会について 開催予定・カリキュラム・内容の打合せ
7月3日	第2回乳製品表示検討委員会 【中止】 (議題) 表示ガイドラインの改正についての検討
3月5日	第3回乳製品表示検討委員会 (議題) 表示ガイドラインの改正についての検討

3. 調製粉乳技術小委員会

開催日	開催名
2月6日	調製粉乳技術小委員会 1) 3-MCPD脂肪酸エステル、GEの低減対策について 2) 添加物調達の課題について 3) 添加物申請業務の再開について

4. 官能評価研修検討小委員会

開催日	開催名
4月25日	官能評価研修検討小委員会 (議題) 2019年度官能評価員育成研修会開催方針検討

5. HACCP検討小委員会

開催日	開催名
5月10日	第1回HACCP検討小委員会(牛乳衛生講習会講師打合せ) (議題) 講義内容の見直し、講義スライドの修正
6月13日	第2回HACCP検討小委員会 (議題) 乳製品HACCP手引書検討
7月10日	第3回HACCP検討小委員会 (議題) 乳製品HACCP手引書検討
9月3日	第4回HACCP検討小委員会 (議題) 乳製品HACCP手引書検討、HACCP講習会の講義・演習内容について
9月30日	第5回HACCP検討小委員会 (議題) 乳製品HACCP手引書検討、HACCP講習会の講義・演習内容について
10月17日	HACCP検討小委員会 (議題) HACCP講習会アドバイザー打合せ
11月18日	第6回HACCP検討小委員会 (議題) 乳製品HACCP手引書検討、HACCP講習会の講義・演習内容について
12月23日	第7回HACCP検討小委員会 (議題) 乳製品HACCP手引書検討

6. 牛乳衛生講習会

開催日	開催名
7月5日	牛乳衛生講習会(東京都千代田区)
7月22日	“(大阪府大阪市北区)
7月24日	“(山形県西村山郡河北町)
8月7日	“(愛知県名古屋)
8月8日	“(岐阜県岐阜市)
8月20日	“(埼玉県さいたま市)
8月21日	“(静岡県静岡市)
8月22日	“(群馬県前橋市)
8月27日	“(福岡県福岡市)
9月4日	“(広島県広島市)
9月18日	“(香川県高松市)
10月2日	“(福島県福島市)
10月8日	“(岩手県和賀郡西和賀町)
10月9日	“(北海道札幌市)
11月5日	“(千葉県千葉市)
11月12日	“(長野県長野市)

7. HACCP専門家養成講習会

開催日	開催名
10月28日～30日	HACCP専門家養成講習会(東京)
11月27日～29日	HACCP専門家養成講習会(大阪)

8. HACCP手引書講習会

開催日	開催名
10月16日	HACCP手引書講習会(宮城県仙台市)

9. 官能評価員育成研修会

開催日	開催名
5月30日～31日	官能評価員育成研修会 育成コース①(東京)
7月11日～12日	“(育成コース②(神戸)
9月13日	“(基礎コース①(東京)
10月11日	“(基礎コース②(神戸)
11月21日	“(基礎コース③(札幌)
12月12日～13日	“(育成コース③(東京)
1月16日～17日	“(育成コース④(神戸)
1月23日～24日	“(専門コース(東京)

10. 牛乳微生物講習会

開催日	開催名
予定なし	

11. 乳製品表示講習会

開催日	開催名
6月21日	乳製品表示講習会(東京)
9月20日	" (大阪)
2月7日	" (東京)

12. 外部会議への出席

開催日	開催名
4月12日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門部会
4月17日	東京飲用牛乳協会 第1回品質改善委員会
4月23日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
5月16日	食品産業センター コーデックス対策委員会
5月24日	全国飲用牛乳公正取引協議会 定時総会
6月12日	東京飲用牛乳協会 第2回品質改善委員会
6月14日	食品産業センター コーデックス対策委員会
6月25日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
7月19日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
7月31日	Jミルク ポジティブリスト委員会
8月15日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
9月11日	東京飲用牛乳協会 第3回品質改善委員会
9月12日	日本乳業技術協会 生乳検査精度管理認証特別委員会
9月24日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
10月2日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
10月3日~4日	東京飲用牛乳協会 見学研修会
10月21日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
11月7日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
12月24日	乳業技術協会 生乳検査精度管理委員会
1月21日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門小委員会
1月31日	全国飲用牛乳公正取引協議会 専門部会
2月3日	チーズ普及協議会 手引書検討委員会
2月4日	食品産業センター コーデックス対策委員会
2月5日	Jミルク ポジティブリスト委員会
2月20日	東京飲用牛乳協会 第5回品質改善委員会 【中止】
3月17日	乳業技術協会 生乳検査精度管理認証特別委員会 【中止】

13. 各種審議会・懇談会等の出席・傍聴

開催日	開催名
4月18日	厚労省衛生管理技術検討会 傍聴
4月24日	厚労省営業規制検討会 傍聴
6月3日	厚労省薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会 傍聴
6月4日	食品保健科学情報交流協議会 総会・懇親会
7月19日	厚労省薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会 傍聴
7月26日	厚労省政省令改正案説明講演会
8月1日	日本食品衛生協会衛生懇話会
8月30日	厚労省容器包装ポジティブリスト制度導入説明会
9月3日	消費者庁食品表示基準強調表示打合せ(1回目)
9月25日	消費者庁食品表示基準強調表示打合せ(2回目)
10月1日	東京都表示法講習会 参加
10月15日	乳容器・機器協会 セミナー参加
11月7日	液体ミルク意見交換会
12月19日	液体ミルクの普及を考える会
1月14日	日本食品衛生協会賀詞交歓会
2月6日	農水省3MCPD脂肪酸エステル、GE低減対策手引き説明会
2月18日	食品衛生法改正政省令説明会
3月下旬	厚労省技術検討会 【延期】

IV. 環境部

1. 環境委員会他

開催日	開催名
4月9日	環境マネジメントワーキンググループ
9日	自主行動廃棄物改善ワーキンググループ
9日	環境委員会
23日	プラ推進協/連絡会(代理)
5月23日	LL紙パック リサイクル推進研究会/運営委員会
24日	食品産業センター/環境委員会
27日	自主行動廃棄物改善WG 臨時会議
5月31日	容リ協/紙容器事業委員会
6月4日	経団連/低炭素社会実行計画ワーキンググループ
7日	環境法令チェックシート活用セミナー開催(広島)
11日	環境マネジメントワーキンググループ
11日	自主行動廃棄物改善ワーキンググループ
11日	環境委員会
12日	経団連/フォローアップ調査説明会
14日	環境法令チェックシート活用セミナー開催(金沢)
7月17日	食品産業センター/環境委員会
22日	LL紙パックリサイクル推進研究会/会員全体会議、情報共有化勉強会

開催日	開催名
8月 6日	自主行動廃棄物改善ワーキンググループ
6日	乳協/環境委員会
8日	環境マネジメントワーキンググループ
9月 10日	自主行動廃棄物改善WG/六甲バター長野工場ヒアリング
27日	関環協/現地研修会
10月 8日	環境マネジメントワーキンググループ
11日	環境委員会・自主行動廃棄物改善WG 合同会議及び施設見学
17日	LL研究会/運営委員会
25日	食産センター・関環協/合同セミナー
25日	食品産業センター/環境委員会
30日	LL研究会/施設見学会（大阪府・大和板紙、他）
31日	経団連/低炭素社会実行計画ワーキンググループ
11月 19日	環境関連法令チェックシート活用セミナー（乳業会館）
22日	経団連/廃棄物リサイクル部会
25日	紙推進協/理事会
12月 4日	JIDF製造技術専門部会
6日	LL研/エコプロ2019出展応援（東京ビッグサイト）
6日	プラ推進協/エコプロ2019出展応援（東京ビッグサイト）
10日	環境マネジメントWG、自主行動廃棄物改善WG、環境委員会
17日	食品産業センター/環境委員会
18日	プラ推進協/企画部会（代理出席）
1月 9日	古紙再生センター/新年互例会
10日	プラ推進協/賀詞交歓会
2月 4日	環境法令チェックシート活用セミナー（名古屋）
5日	第3回乳業基本問題検討委員会に参加（SDGs関連）
7日	環境法令チェックシート活用セミナー（福岡）
14日	自主行動廃棄物改善WG
14日	環境委員会
18日	プラ推進協/広報・啓発委員会
21日	LL紙パックリサイクル推進研究会/運営委員会
28日	環境マネジメントWG 【書面会議】
3月 17日	食品産業センター/環境委員会 【書面会議】

2. 全国牛乳容器環境協議会関係

開催日	開催名
4月 4日	総務・支部組織委員会
4日	広報委員会
5日	イベント委員会
10日	月次運営委員会
12・16日	監事監査
17日	千葉県教育庁を訪問
24日	83回理事会・第28回通常総会・第84回理事会
5月 9日	広報委員会
9日	イベント委員会
14日	総務・支部組織委員会
15日	リサイクル講習会（大月市）
22日	第1四半期運営委員会
24日	イベント委員会
6月 1～2日	エコライフ・フェア 2019 出展（代々木公園）
3日	3R活動推進フォーラム総会
3日	牛乳パック再利用マーク普及促進協議会 総会
6日	広報委員会
11日	総務・支部組織委員会
12日	イベント委員会
19日	月次企画運営委員会
19日	手すきはがき講習会
24日	紙推進協/組成分析調査参加（北見市）
25日	出前授業（堺市）
29日～7月7日	欧州視察
7月 10日	出前授業（北九州市）
12日	広報委員会
16日	イベント委員会
17日	総務・支部組織委員会
24日	月次企画運営委員会
25日	出前授業（久留米市）
27日	エコ暮らしこフェア（川崎市）
8月 1日	広報委員会
6日	リサイクル講習会（相模原市）
8日	イベント委員会
9日	総務・支部組織委員会
21日	第2四半期-企画運営委員会

開催日	開催名
9月 1日、6日	遊ぶ学ぶコンクール次期運営会社選考面談
3日	容環協/
5日	学乳パックリサイクル視察（横浜市）
10日	広報委員会
10日	イベント委員会
11日	エコプロ2019出展者説明会
18日	月次運営委員会
20日	紙パック回収システム強化研究会
24日	学乳パック取材（相模原市）
25日	学乳パック意見交換（川崎市）
27日	出前授業（佐賀県吉野ヶ里町）
10月 1日	・支部組織委員会
2日	広報委員会
8日	出前授業（大阪市）
9日	イベント委員会
16日	月次運営委員会
20日	2019 八千代どんと祭 出展
25日	「遊ぶ学ぶコンクール」一次審査会
31日	古紙センター/ポスターコンクール審査
11月 5日	総務・支部組織委員会
7日	イベント委員会
7日	広報委員会
12日	印刷工業会液体カートン部会組成分析調査に参加
13日	牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール審査会
13日	基本調査報告会
21日	第13回 環の縁結びフォーラム
22日	イベント委員会
27日	エコプロ全体会議
28日	広報委員会
12月 3日	総務・支部組織委員会
5～7日	エコプロ2019 出展（東京ビッグサイト）
11日	月次運営委員会
14日	ライフ店頭イベント（東大阪市）
14日	古紙再生促進センター コンクール表彰式
18日	イベント委員会
19日	広報委員会
1月 9日	古紙再生センター新年互例会
9日	広報委員会
10日	学乳供給推進全国会議にて講演（農水省）
10日	イベント委員会
14日	学乳パックリサイクル打合せ（東京都庁）
15日	出前事業（広島市）
17日	総務・支部組織委員会
20日	八千代市クリーン推進課との打合せ
21日	古紙組成分析調査（印刷工業会主催）
22日	製紙メーカー・古紙問屋調査 中間報告会
22日	月次運営委員会
23日	コレックス道栄打合せ
28日	出前事業（新見市）
29日	出前授業（墨田区）
2月 4日	総務・支部組織委員会
6日	イベント委員会
6日	広報委員会
7日	紙パック回収システム強化研究会
13日	飲料用紙パック回収促進意見交換会
19日	第4四半期-企画運営委員会
27日	広報委員会（3月度）
28日	遊ぶ学ぶコンクールWG
3月 3日	全原連打合せ
11日	月次運営委員会 【中止】
11日	基本調査報告説明会
16日	紙推進協理事会 【書面会議】
19日	第86回理事会

3. 飲料用紙容器リサイクル協議会関係

開催日	開催名
4月 3日	3R推進団体連絡会運営会議(アルミ缶協)
5月 8日	3R推進団体連絡会運営会議(飲紙協)
10日	監事監査
16日	理事会、総会
22・23日	全国都市清掃会議(川崎市)
6月13日	3R推進団体連絡会運営会議(段り協)
7月 3日	3R推進団体連絡会運営会議(ガラス協)
26日	意見交換会「容器包装3R交流セミナー」(福岡市)
8月 7日	3R推進団体連絡会運営会議(飲紙協)
9月12日	3R推進団体連絡会運営会議(プラ推進協)
10月 2日	3R推進団体連絡会運営会議(紙推進協)
3日	市民リーダー自治体意見交換会(乳業会館)
17日	紙パックリデュースワーキンググループ
24日	全国都市清掃会議/臨時総会・意見交換会(四日市市)
29日	3R推進全国大会(新潟市)
11月 1日	産構審中環審合同会議(レジ袋有料化)傍聴
6日	3R推進団体連絡会運営会議(スチール協)
21日	3R臨時運営会議(ガラス協)
22日	意見交換会「容器包装3R交流セミナー」(京都市)
12月 2日	3R推進団体連絡会フォローアップ報告の所管3省説明
3日	3R推進団体連絡会容り懇談会
3日	3R推進団体連絡会運営会議(アルミ協)
5~7日	エコプロ2019 八団体共同ブース支援(東京ビッグサイト)
11日	3R推進団体連絡会記者説明会
24日	容器包装市民リーダースキルアップ研修会
1月 9日	3R推進団体連絡会運営会議(飲紙協)
28日	容器包装3R推進フォーラム(千代田区)
2月 5日	3R推進団体連絡会運営会議(段ボール協)
13日	意見交換会「容器包装3R交流セミナー」(秋田市)
3月 5日	3R推進団体連絡会運営会議(ガラス協) 【書面会議】
3月 7日	市民リーダー育成講座(町田市) 【中止】

事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。